

## 書道科 6年間カリキュラム

中 I	科目 単元				
中 II	科目 単元				
中 III	科目 単元				
高 1	科目 領域	【必選】※1 書道 I			
高 1	単元	表現		鑑賞	
		<p><b>【漢字仮名交じりの書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成</li> <li>・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現</li> <li>・名筆を生かした表現や現代に生きる表現</li> <li>・用具・用材の特徴と表現効果との関わり</li> <li>・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり</li> <li>・目的や用途に即した効果的な表現</li> <li>・漢字と仮名の調和した線質による表現</li> </ul>	<p><b>【漢字の書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成</li> <li>・意図に基づいた表現</li> <li>・用具・用材の特徴と表現効果との関わり</li> <li>・書体や書風と用筆・運筆との関わり</li> <li>・古典に基づく基本的な用筆・運筆</li> <li>・古典の線質、字形や構成を生かした表現</li> </ul>	<p><b>【仮名の書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成</li> <li>・意図に基づいた表現</li> <li>・用具・用材の特徴と表現効果との関わり</li> <li>・線質や書風と用筆・運筆との関わり</li> <li>・古典に基づく基本的な用筆・運筆</li> <li>・連綿と単体、線質や字形を生かした表現</li> </ul>	<p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の価値とその根拠</li> <li>・生活や社会における書の効用</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化</li> <li>・漢字の書体の変遷、仮名の成立等</li> <li>・書の伝統的な鑑賞の方法や形態</li> </ul>
		<p><b>【両領域共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについての理解</li> <li>・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わり方の理解</li> </ul>			
高 2	科目 単元				
高 3	科目 単元				

6年間指導における指導上の工夫

※1 高校1年生では、芸術選択として、音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰの中から一科目選択する。